

毎日使う洗濯機。でも意外な事故が起っています

洗濯物が自然発火

事例

乾燥中の衣類が焼けた。
(2011年11月 東京都)

原因

油分が付いたタオルを洗濯後に乾燥運転したため、残っていた油脂成分の酸化熱*によりタオルが自然発火したものです。

*美容オイル（オリーブオイル、アーモンドオイル、グレープシードオイルなど）、食用油、動物油などの油は、空気に触れると酸化して熱が発生します。この熱を酸化熱といいます。酸化熱が蓄積して温度が上昇することで、自然発火に至ることがあります。



洗濯物が指にからまってけが

事例

脱水槽から洗濯物を取り出そうとしたところ、人さし指が衣類に巻き込まれてけがをした。(2010年8月 長野県)

原因

回転中の脱水槽に手を入れたためです。



運転中に本体が破損

事例

脱水中の洗濯機から大きな音がして前面と後面の外枠が外れ、壁の一部が壊れた。(2010年2月 大阪府)

原因

防水性の玄関マットを洗濯したため、脱水時に回転が不安定になって異常振動を引き起こし、脱水槽が大きく揺れて外枠に衝突し大きな音とともに変形したものです。



美容オイル、食用油、動物油、塗料などが付いたタオルや衣類は洗濯後でも乾燥機能を使わないでください。オイルなどが残留していると、酸化熱で自然発火するおそれがあります。

洗濯槽や脱水槽が完全に停止しない状態でふたを開けて手を入れないでください。回転している衣類に指が巻き込まれて切断するなどけがをするおそれがあります。

取扱説明書で禁じている防水性製品や容量を超える量を洗濯しないでください。洗濯機が大きく振動し、本体破損や周囲に被害を与えるおそれがあります。

塗料を拭き取った布が自然発火

事例

建物を全焼する火災が発生した。
(2010年7月 島根県)

原因

塗料を拭き取ったタオルを洗わないままで木製棚に置いていたところ、塗料に含まれる植物油の酸化熱によりタオルが自然発火したものです。



植物油（ひまわり油、亜麻仁油など）を含む塗料は自然発火のおそれがあります。塗料を拭き取った布は焼却するか、水の入った容器に入れて処理してください。注意書きをよく読んで使用してください。



ガスカートリッジ直結型ガスこんろが異常燃焼

事例

ガスカートリッジ直結型ガスこんろを使用したところ、異常燃焼する火災が発生した。(2009年7月 東京都)

原因

ガスカートリッジ直結型ガスこんろを斜めに使用したため、内部のガスが液体のまま噴出して着火し、大きな炎が上がったものです。



ガスカートリッジ直結型ガスこんろは、傾けて使用しないでください。液ガスが噴出して炎が高くなります。必ず平坦な場所に水平に置いてください。窓の近くなど高温になる場所に放置すると、破裂するおそれがあります。

⚠ このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。

